



平成24年3月期 第2四半期

決算説明資料

本資料は、当社の平成24年3月期第2四半期決算の業績概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号

・澤田ホールディングス株式会社 Sawada Holdings Co.,Ltd.

代表者

・代表取締役社長 澤田 秀雄

所在地

・東京都 新宿区 西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー27F

設立

・昭和33年1月21日

資本金

・12,223,312,500円

従業員

・2名(単体)、 6,371名(グループ)

グループ会社数

・連結子会社 8社 ・持分法適用関連会社 4社

発行済株式総数

・40,953,500株

時価総額

・23,548,262,500円

平成23年9月末時点

連結子会社：8社 持分法適用関連会社：4社

< 主要関係会社 >

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成23年9月末時点

	社名	議決権比率	グループ参加時期
証券業務	● エイチ・エス証券(株)	100.0%	平成18年9月
銀行業務	● ハーン銀行 (KHAN BANK LLC.)	52.9%	平成15年3月
債権管理回収業務	● エイチ・エス債権回収(株)	100.0%	平成18年11月*
商品先物取引業務	● エイチ・エス・フューチャーズ(株)	100.0%	平成17年6月
外国為替取引業務	▲ (株)外為どっとコム	37.4%	平成17年6月
損害保険業務	▲ エイチ・エス損害保険(株)	49.6%	平成17年5月*
VC業務	▲ エイチ・エス・アシスト(株)	37.6%	平成18年11月
再生ビジネス	▲ 九州産業交通ホールディングス(株)	46.9%	平成17年10月
	● (株)アスコット	42.3%	平成21年9月
少額短期保険業務	● エイチ・エスライフ少額短期保険(株)	44.5%	平成22年5月*

*設立

グループ連結

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	前年同期比
営業収益	8,140	13,625	167.4%
純営業収益	5,091	7,282	143.0%
営業利益	445	2,471	555.2%
経常利益	1,138	2,868	251.8%
当期純利益	69	1,062	1,517.9%

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	前年同期比
総資産	150,011	173,501	111.8%
純資産	28,113	30,124	107.5%
現預金	31,229	30,844	98.8%

事業別連結

平成24年3月期第2四半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	証券関連 事業	銀行関連 事業	商品先物 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	連結
営業収益	1,510	7,596	174	698	3,627	93	13,625
営業費用	1,510	5,144	444	669	3,301	172	11,153
営業利益	0	2,452	△ 270	29	325	△ 78	2,471
経常利益	49	2,452	△ 18	21	215	△ 142	2,868

平成23年3月期第2四半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	証券関連 事業	銀行関連 事業	商品先物 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	連結
営業収益	1,879	5,374	120	645	95	86	8,140
営業費用	1,853	4,496	443	641	209	119	7,694
営業利益	25	878	△ 322	3	△ 113	△ 35	445
経常利益	31	878	132	6	△ 180	52	1,138

※連結は、内部取引を控除後の数値を表示しています。

事業別営業収益

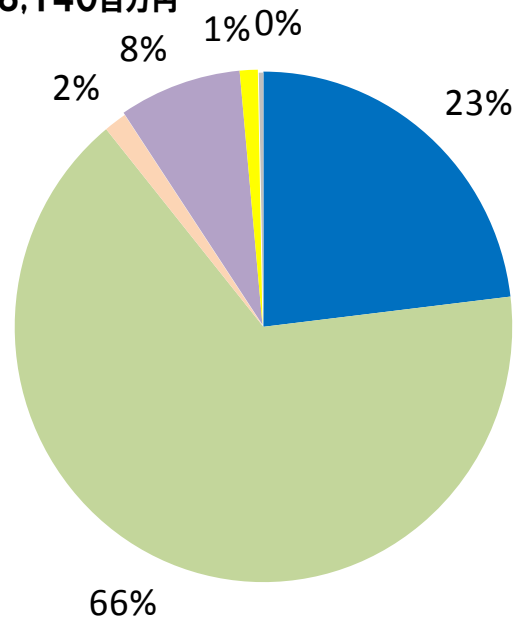
※外部顧客に対する営業収益

(単位:百万円)

	平成23年3月期第2四半期	平成24年3月期第2四半期
証券関連事業	1,879	1,510
銀行関連事業	5,374	7,596
商品先物関連事業	120	174
債権管理回収関連事業	645	698
不動産関連事業	95	3,627
その他事業	24	16
合計	8,140	13,625

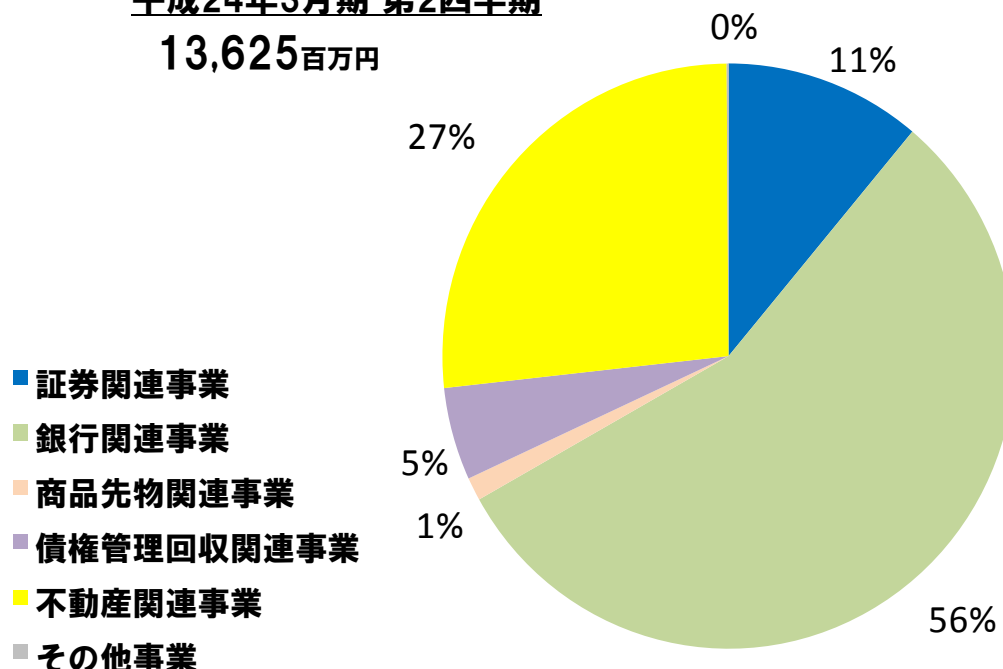
平成23年3月期 第2四半期

8,140百万円



平成24年3月期 第2四半期

13,625百万円



(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社		23年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	24年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	1,724	1,510	87.6%
資本金	3,000百万円	営業利益	79	3	3.9%
議決権の 所有割合	100.0%	経常利益	84	52	62.4%
主要な事 業の内容	第一種金融商品取引業	当期純利益	△ 32	26	-
		総資産	26,311	21,640	82.2%

概況

■株式市況に左右されない募集物商品の販売に注力

- ・平成23年7-9月 「ブラジル・リアル建社債」を中心に外債約26億円を販売
 全国一斉外債セミナーを全国延べ151会場で開催
 (株)日経CNBCとタイアップ・セミナー実施

■モバイル株取引サービス「株マル特ケータイ」を大幅に強化

- ・平成23年9月 スマートフォン用株取引アプリ「スマ株」を提供開始
 ~ 業界初の「パソコン要らず」株取引アプリ(スマートフォンのみで株取引完結) ~
 携帯電話用株取引ツール「モバ株」をバージョンアップ

(単位:百万円)
 (23年6月末レート 1円=15.66MNT)
 (23年12月期平均レート[6月末時点] 1円=15.24MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC.)	22年12月期 第2四半期 (1~6月累計)	23年12月期 第2四半期 (1~6月累計)	前年同期比	
所在地	モンゴル国ウランバートル市	営業収益	5,374	7,596	141.3%
資本金	12,994百万MNT(MNT:トゥグルグ)	営業利益	878	2,452	279.1%
議決権の 所有割合	52.9%	経常利益	878	2,452	279.1%
主要な事 業の内容	銀行業	当期純利益	668	1,866	279.1%
		総資産	91,062	123,630	135.7%

概況

- 2011年9月末現在、総資産1兆9,456億MNT、預金総額1兆5,906億MNT、融資総額1兆3,123億MNT、自己資本2,143億MNTでありモンゴル最大の銀行である。
- 2010年に世界的規模のオユ・トルゴイ鉱山事業の設備投資資金投入より経済が反転し、2011年にはタバン・トルゴイ鉱山事業の落札者選定が進んでおり、経済に更なる勢いがついてきている。
 経済成長に伴い融資残高、預金残高が増加基調となっている。今後も適切なリスク管理を実施しつつ業量・収益の拡大を目指す。

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス・フューチャーズ株式会社		23年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	24年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	前年同期比
所在地	東京都中央区	営業収益	120	174	144.8%
資本金	450百万円	営業利益	△322	△270	-
議決権の 所有割合	100.0%	経常利益	132	△18	-
主要な事 業の内容	商品先物取引業	当期純利益	55	△174	-
		総資産	5,841	5,110	87.4%

概況

- ・ Web オンライン、会場セミナーの定期的開催による投資啓蒙活動
- ・ オンライン取引キャンペーンや日刊ゲンダイへの広告掲載等、広告宣伝を積極展開
- ・ 田代岳氏 [YEN蔵] (株)ADVANCE代表)、大橋ひろこ氏 (フリーアナウンサー) と
当社アドバイザーによる対談開催 (平成23年7月24日・8月28日・9月25日)
- ・ 72年ぶり「コメ先物取引」試験上場 (平成23年8月8日)
- ・ 外国商品市場取引サービス提供開始 (平成23年9月1日)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社		23年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	24年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	前年同期比
所在地	東京都中央区	取扱債権 回収高	645	698	108.2%
資本金	500百万円	営業利益	3	29	735.7%
議決権の 所有割合	100.0%	経常利益	6	21	347.2%
主要な事 業の内容	債権管理回収業 (法務大臣許可第110号)	当期純利益	4	17	371.7%
その他の 許可事業	コンサルティング業務・集金代行業務	取扱債権額	平成23年9月末日管理回収取扱債権額 451,971百万円 内 受託債権額 275,749百万円		

概況

サービス業界においては、中小企業金融円滑化法や東日本大震災の影響等もあって、依然として厳しい環境下にあります。

その中において、弊社は積極的な営業展開を実施し、第2四半期で債権額99億33百万円の債権を買い取り、また、先に受託した大型案件の回収も軌道に乗ってきており、安定的な収益構造を構築しつつあります。

第2四半期の実績として、買取債権の回収が1億61百万円(前年同期比101.1%)、買取債権の譲渡が1億60百万円(前年同期比611%)、回収受託手数料が70百万円(前年同期比1864%)となっております。

(単位:百万円)

商号	株式会社アスコット (JASDAQスタンダード 証券コード:3264)	22年9月期 (連結)	23年9月期 (連結)	前年同期比	
所在地	東京都新宿区	営業収益	576	3,789	657.5%
資本金	1,434百万円	営業利益	△388	359	—
議決権の 所有割合	42.3%	経常利益	△705	106	—
主要な事 業の内容	不動産業	当期純利益	△495	124	—
		総資産	11,216	10,243	91.3%

概況

不動産開発事業：分譲マンション開発

- ・「アスコットパーク日本橋小伝馬町」 竣工引渡 完了
- ・「アスコットパーク東京八丁堀」 竣工引渡 完了

その他事業

- ・不動産コンサルティング業務：「(仮称)東神田プロジェクト」

平成20年9月期以来の営業利益、経常利益、当期純利益 黒字へ転換

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス損害保険株式会社		23年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	24年3月期 第2四半期 (4~9月累計)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	経常収益	1,258	1,469	116.8%
資本金	1,612百万円	経常利益	21	11	53.2%
議決権の 所有割合	49.6%	当期純利益	20	9	47.0%
主要な事 業の内容	損害保険業	総資産	2,057	2,510	122.0%

概況

- ・平成23年4月20日 家財総合保険「やさしいネット」の販売開始
- ・平成23年6月1日 ネット専用海外旅行保険「スマートネット」の販売開始
- ・平成23年9月 「スマートネット」 8月、9月連月で契約件数が1万件を突破

- ・平成24年3月期9月末 契約件数(累計) 320千件
- ・平成24年3月期9月末 収入保険料(累計) 2,167百万円

(注1) 経常収益は保険引受収益、資産運用収益およびその他経常収益の合計額

(注2) 経常利益は経常収益から経常費用(保険引受費用、資産運用費用、営業費及び一般管理費、その他経常費用)を差し引いた金額

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム		22年3月期	23年3月期	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	15,894	8,180	51.5%
資本金	776百万円	営業利益	5,320	83	1.6%
議決権の 所有割合	37.46%	経常利益	5,402	250	4.6%
主要な事 業の内容	第一種金融商品取引業	当期純利益	3,117	△ 661	-
		総資産	117,739	113,141	96.1%

概況

- ・「口座数」「預かり資産」の2部門にて、7年連続・FX(外国為替保証金取引)業界No.1達成
～『2011年版FX(外国為替証拠金取引)市場の動向と展望』(株)矢野経済研究所調べ～
- ・「預かり残高」1,000億円台回復(平成23年8月)
- ・外為どっとコム総研『外為白書2010-2011(第2号)』発刊(平成23年9月)

口座数:336,165件(平成23年9月)

預り保証金総額:103,379百万円(平成23年9月)

(単位:百万円)

商号	九州産業交通ホールディングス株式会社	<グループ連結>	23年3月期	24年3月期	前年同期比
			第2四半期 (4~9月累計)	第2四半期 (4~9月累計)	
所在地	熊本県熊本市	営業収益	11,590	11,736	101.2%
資本金	1,065百万円	営業利益	707	499	70.5%
議決権の 所有割合	46.9%	経常利益	475	336	70.6%
主要な事 業の内容	バス事業、旅行・観光事業 不動産事業	当期純利益	202	0	0.4%
		総資産	32,868	31,841	96.8%

概況

- バスグループ
【路線バス】熊本市内・阿蘇定期観光バスと「日帰りバス旅（路線バス利用の個人型観光旅行商品）」利用増加
【貸切バス】関西方面からの観光・修学旅行増加（全車除菌機搭載「除菌バス」）
- ツーリズム
【旅行】イベント満載の「ハウステンボスバスツアー」大好評
【索道】阿蘇山ロープウェイ、設備修繕整備のため運休（貸切バスによる代替運休）
- ランドマーク
【飲食・物販】熊本城 城彩苑「桜の小路店」、JR熊本駅「旬彩館」順調に推移。（観光・地元利用も増加）
- 第2四半期は、原油スワップ取引評価損118百万円営業外費用計上（前期末原油高騰→現原油価格との評価差異）
その他、退職金制度変更（適格年金からの制度移行）に伴い、特別費用178百万円計上。（特別利益との相殺額）
- ◆震災の影響も徐々に弱まり、九州新幹線の全線開業効果等により観光利用・交流人口も増加がみられ、業績は回復基調。秋以降の観光・イベントにあわせ、バス・旅行・飲食物販等の商品強化を図る。